



皆さんこんにちは。呼吸器内科の伊藤です。

今月から呼吸器の病気に関するコラム3回にわけてお届けします。
タバコ・肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)のお話を予定しています。
気軽におつきあいください。

◎ 伊藤秀幸 (いとう ひでゆき) 医師

主な経歴：東京女子医科大学第一外科

国立国際医療研究センター呼吸器外科

今回は肺がんとたばこのお話をしようと思います。

肺がんは肺（気管、気管支、肺胞）から発生する癌の総称です。我が国のがん疫学統計では、部別がん死亡率の圧倒的なトップ、部位別がん罹患率も近年急速に増加の一途をたどっています。男女比では昔から男性に多い病気とされているのですが、近年女性の肺がんが増加していることが知られています。大きく小細胞癌と非小細胞癌に分類され、非小細胞癌の中には扁平上皮癌、腺癌大細胞癌があります。ひとくちに肺がんといっても、組織学的にも多彩であり、急速に進行する悪性度の強いものから年余にわたってあまり変化のないものまで、多種多様なことが特徴です。

症状と診断、治療

肺がんの症状は、その発生部位とがんの進行度によってかわってきます。気管、気管支の中樞にできる癌では早期から咳、痰などの症状がでることがありますが、肺の末梢にできる癌では早い時期に症状がでることはありません。健診などを利用して画像診断で発見することが大切です。胸部単純レントゲンで異常が疑われたらCTを施行し、画像評価を行います。癌が疑われるようであれば気管支鏡（気管支、肺の内視鏡検査です）を行い細胞、組織学的な確定診断をします。肺がんは進行するとリンパ節転移、遠隔転移をきたします。これらの転移の有無により病期が決まります。この病期にそって治療法が選択されるのです。比較的早期の癌であれば手術、進行病期であれば化学療法（抗癌剤です）が中心となりますが、最近では放射線治療や分子標的薬などの治療法が大幅に進歩しています。

タバコが関係する病気

喫煙習慣は、肺がんの主な原因であることがわかっています。欧米では、たばこを吸う男性の肺がんリスクは、吸わない男性に比べ10倍以上と非常に高くなることが報告されています。日本では男性で4.4倍、女性で2.8倍という報告があります。

健康保険でできる禁煙治療

禁煙治療にはニコチン補充とバレニクリンという飲み薬があります。2006年より禁煙治療には健康保険が適用され、患者さんの負担も軽くなりました。当院ではバレニクリンの処方を行いますが、以前より成功率も高くなっています。興味のある方はぜひ気軽に外来にお越しください。